

タイトル「運動会」

ツ「どーも〇〇〇と申します」

ボ「何度でもいいですよ。名前覚えて帰ってくださいね」

ボ「なあ、俺たちもそれぞれ子ども一人ずつおるやん？」

ツ「ああ、めっちゃ可愛い一人息子がおるで！ でもそれがどうしたんや」

ボ「今後さ、俺ら小学校の運動会とかにも行くことになるわけやろ？ 行ったときにさ、俺、父親としてやりたいことあるねん。付き合ってくれへん？」

ツ「ん？ おお、別にええで！」

ボ「じゃ、早速……なあ、次のクラス対抗リレーで賭けようぜ！！」

ツ「はあ！？ 父親になってやりたいことってそれえ！？」

ボ「あかんのか！？ 年一回開かれる激レアの賭場やぞ！！ 賭けんでどうすんねん！！」

ツ「子どもの運動会を賭場とか言うな！！ 息子泣くぞ！」

ボ「大丈夫、金なんて賭けへんから。ほら、負けた方が焼肉奢るで、どや？」

ツ「いや、でもなあ……」

ボ「な、もうええからさ、とにかくパドック見に行こ！！」

ツ「待機場所のことパドックって言うな！」

ボ「おっ、もう4年生みんな揃ってるな！！」

ツ「賭けろって言われてもなあ。どこに賭けたらええねん」

ボ「自分の息子のクラスに賭けといたら？ お前んとこのシュンくん、めっちゃ速いし」

ツ「え、別に速ないと思うけどな」

ボ「ああ、まあ……お前は知らんかもな」

ツ「は？ 何？ どういうこと？」

ボ「俺は息子から聞き出した情報があるから、それで決めるわ」

ボケ、紙のメモを開く

ボ「一応、馬に見立てて、全員に馬名をつけとんねん」

ツ「マジか……お前いつか訴えられるで……」

ボ「まず、俺の息子、ドウテイオー」

ツ「ウマ息子お！！ お前息子になんか恨みある！？」

ボ「え？ なんで？ 小学生なんやから童貞は当たり前やろ」

ツ「サイコパスかお前はああ！！ そんな名前みんな嫌やろ！？」

ボ「みんな似たような名前にしてんで」

ツ「えっ、じゃあ、あの子は？」

ボ「ドウテイ」

ツ「直球すぎるやろ！ 酷い！ 酷すぎる！ お前、右から順に全員言ってけ！」

ボ「ドウテイゼータ」

ボ「ドウテイダブルゼータ」

ボ「ニュードウテイ」

ツ「宇宙世紀ガンダムううう！！ え、実際の馬からとってへんの！？」

ボ「いつそなん言った」

ツ「だって、ドウテイオーって、トウカイテイオーの……えっ！！ もしかして……ガンダムダブルオーの O ガンダムから取ってる！？」

ボ「センスいいやろ？」

ツ「ちょっと待って、気になってきた。じゃあさ、じゃあさ、俺の息子は？」

ボ「ああ……リスペクトシュン」

ツ「へ？ な、なんや普通やな。なんかあるやろ。ドウテイアレックスとか、ドウテイマークツーとかさあ！！」

ボ「いや、リスペクトシュン」

ツ「はあ？ なんでやねん！！ 俺の息子にもガンダムの名前くれや！ なっ、ほらマイナーなやつでもええから、な？ 陸戦型ドウテイでもいいで！」

ボ「いや、無理や」

ツ「なんでや！ シュンもみんなと同じドウテ……っ！？」

何かに気づく相方

ツ「もしかして……シュン、卒業してる……？」

ボ「シュンくん、めっちゃはやいっていうたやろ」

ツ「はあああ！？ えっ！？ マジ！？ マジ！？ 嘘やろ！？ えっ！？ えっ！？」

ええっ！？」

ボ「俺、息子のクラスに賭けるわ。お前は？」

ツ「いやいやいや、無理！！ 無理い！！ 今、そんな状態じゃない！？ 俺の可愛い一人息子が！？ ええ！？！？ はああああ！？！？」

パァン！ ボケ、ツッコミを叩く

ボ「落ちつけ！ 賭場では熱くなった奴から負けるぞ！」（イケメンボイス）

ツ「熱くなってんのはお前の暴露のせいだろうが！！」

ボ「お、リスペクトシュンとリスペクトユウナの組が移動し始めたぞ」

ツ「リスペクトユウナあ……！！」（鬼の形相）

ボ「もう、そろそろ始まるけど、早く賭けるクラス決めろや」

ツ「いいで。賭けに乗ってやる。ただし、俺が勝ったら、リスペクトユウナが誰か教えろや」

ボ「お、いいね！」

ツ「リスペクトシュンのクラスに全ツツパや！！」

アナウンサー「4年生クラス対抗リレー、スタートします。位置について……よーい、ドン！」

ボ「いっけえ！！ ドウテイブルーディスティニー！！ exam モードでぶち抜けええ！！」

ツ「そこや、させえ！！ いけえ！ ドウテイ F91！！ F91 の F はフォーミュラのエフウ！！」

ボ「あああ！！ 壺漬けハラミ！！ 大判サーロイン！！ キングカルビィ！！！」

ツ「某焼肉店の名物料理いい！！」

ボ「ドウテイオー、いけ！！ いけ！！」ぐるぐる腕を回しながら

ツ「リスペクトシュン！！ 抜け！ 抜けええ！！」

ボ「よっしゃ、5馬身差や！！ 勝つぞ！！ 勝つぞ！！ 決まっ……え！！ なんて立ち止まるんや！！ ドウテイオー！！！」

ツ「え、リスペクトシュン、なんでドウテイオーと手を繋ぐんや！！」

アナウンサー「勝者も敗者もない。みんなで仲良く手を繋いでゴールです！！ はい、みなさん拍手をお願いします！」

ボ「ドウテイオーのくせに帝王になられへんってなんやねん。……茶番やったな。まあ、でも、結局、俺の負けか」

ツ「え？ なんで？」

ボ「シュンくん、やっぱめちゃくちゃはやいからな」

ツ「リスペクトユウナあ！！」鬼の形相

ボ「賭場で熱くなんなよ、もうええわ」

ボ・ツ「どーもありがとうございました！」